

第 126 回 JUNBA 理事会議事要旨

1. 日時・場所

日時：2017 年 12 月 7 日（木）14:00～15:10

場所：日本学術振興会サンフランシスコ研究連絡センター

2. 出席者

【理事】名古屋大学（神山会長）、大阪大学（長谷川副会長）、桜美林大学（丸山理事）
九州大学（松尾理事）、奈良先端科学技術大学院大学（三宅理事）

龍谷大学（山崎理事）、早稲田大学（會沢理事）

【オブザーバー】鹿児島大学（江木氏）

【事務局】JSPS（田宮事務局長、箕浦、中村、大山）

3. 議事

議事に先立ち、第 125 回理事会議事要旨案を了承した。

【 審議事項 】

(1) JUNBA の今後の活動について

神山会長から、11 月に実施した 2 回の勉強会の審議結果を踏まえ、今後の JUNBA の活動について以下のとおり説明があり、審議の結果、承認された。

- 原則として、月 1 回開催する理事会の後に勉強会を実施する。理事会メンバー以外の参加を妨げない。
- 勉強会の発表者は、各理事（JUNBA 事務局メンバーを含む）が順番で担当するが、要望に応じて外部講師を招聘することも検討できることとする。
- 発表内容は、各大学の関心の高い事項を各々選定し、その調査内容等を共有する。例えば、1）所属大学から各拠点に下される調査依頼（指示）に基づく調査概要やその結果、2）各拠点の取組みの全体像やその中でも特に力を入れている取組み等を発表する。
- 発表者の準備や参加者の予定調整のため、原則として、勉強会の開催日時を 2 ヶ月前までに確定するよう努める。また、発表前回の勉強会で、発表者は発表テーマ等を簡単に紹介する。
- 第一回勉強会は、2018 年 1 月の理事会と同日に開催し、神山会長が「産学連携（技術移転）のうまくいかない点」について発表する。
- 勉強会を継続的に実施する代わりに、年 1 回開催していた大きなイベントは、当面の間実施しない。

【 報告事項 】

(2) ACTFL の報告について

事務局から、資料 2 に基づき、JUNBA 加盟大学及び JUNBA 事務局が ACTFL ブース出展に関して会計報告があった。

各参加大学の理事から、米国の多くの日本語講師・高校教師や政府関係者と知り合うことができ、ネットワーク形成・拡大に役に立ったとの報告があった。

今回、来訪者が予想よりも少なかったため、次年度以降は、日本パピリオン内で出展することを視野に入れながら、出展の可否について検討することとした。

(3) 各拠点からの活動報告

3月までの活動に追記・変更のあった拠点の理事から、資料3に基づき、該当箇所について報告があった。

(4) その他

次回（第127回理事会及び第1回勉強会）及び次々回（128回理事会及び第2回勉強会）について、事務局が理事会終了後、日程調整を行なうこととした。

また、次回理事会はZoomを使用して実施予定であるとの連絡があった。

以上